

For the public

記憶に残る末川 博の言葉

「未来を信じ 未来に生きる 君におくる」



理想は高く 姿勢を低く
いつも心に 太陽をもって
一歩ずつ 前へ前へと進もう



表題は、私の部屋に掲げている末川先生の言葉です。人にはそれぞれ自分の故郷があり、育ててもらった学び舎、母校があります。

私は教育者であり法学者でもあった末川先生を尊敬し、私が小学生当時、先生が学長、総長を務められていた学校に18才で入学し、22才で卒業しました。母校には入学する前から深い思い入れがあります。また私の人生や考え方は母校と切り離せないものだとも考えています。母校の教学の理念は、人生の幾多の困難を乗り越えて行く上での原動力であり、末川先生の学校を卒業したことは私の誇りでもあります。

昔私の数少ない趣味の中で大好きなことは映画鑑賞でした。学生の頃は見たい映画があると時間を空けてでも見に行きました。その中でもスターウォーズを見た時、SF Xやビデオを利用した電子編集にジョージ・ルーカス監督の凄さを感じると共に、主人公ルーク・スカイウォーカーのモデルは誰かと思いを巡らせました。セリフの奥に隠れた深い意味を読み解くと、これはきっと東洋文化（禅や仏陀）に対するリスペクトであろうと思ったら、妙に納得したのを覚えています。

一人ひとり興味のあること、やってみたいことはみんな違うと思います。頑張りたいことを頑張ることのできる、最後まで諦めない気持ちは、様々な体験を通して得られます。母親から「自分のことは自分でなさい」とよく言われる様に、何かに頼らず自己を確立することが人生で大切な要素です。と同時に努力すれば、歩みはゆっくりかもしれませんが、様々な物事は確実に前進し、希望につながっていくと思います。

末川先生の言葉にある「いつも心に太陽をもって」何が大切か、今何をしなければいけないのかを考えながら、「一歩ずつ（一日一日を大切に過ごし）前へ前へと進もう」ではありませんか！

令和5年4月1日

For parents

記憶に残る末川 博の言葉

「未来を信じ 未来に生きる 君におくる」



理想は高く 姿勢を低く
いつも心に 太陽をもって
一歩ずつ 前へ前へと進もう



表題は、私の部屋に掲げている末川先生の言葉です。人にはそれぞれ自分の故郷があり、育ててもらった学び舎、母校があります。

私は教育者であり法学者でもあった末川先生を尊敬し、私が小学生当時、先生が学長、総長を務められていた学校に18才で入学し、22才で卒業しました。母校には入学する前から深い思い入れがあります。また私の人生や考え方は母校と切り離せないものだとも考えています。母校の教学の理念は、人生の幾多の困難を乗り越えて行く上での原動力であり、末川先生の学校を卒業したことは私の誇りでもあります。

昨今は色々なことが目まぐるしく変化し、災害も多く、安定した社会とはいいがたかったかもしれません。一年が過ぎてしまうのはものすごく早く、今思うと長いようであっという間だったように感じます。社会が日々進歩した中でも、誰もが気軽に携帯電話を使って、いつでもインターネットを手元で操作できる、その様な画期的な時代が来るとは想像していませんでした。未来に生きる子供達にとって、次の時代はどんな嬉しい進歩があるのでしょうか、楽しみですね。

新年度がスタートします。また一つステップアップした子供達、1年間はあっという間ですが、また1年後に成長するであろう子供達の姿を想像すると、今からワクワクしています。お父さんお母さんと一緒に成長を喜び、少しでも力になりたいと思っています。そして毎日がワクワク、ドキドキするような、子供達が楽しく過ごせ、親も安心して預けられるような保育を目指します。

末川先生の教えを心に刻み、「いつも心に太陽をもって」子供達にとって何が大切か、今何をしなければいけないのかを考えながら、「一歩ずつ 前へ前へと進もう」と思っています。

花園保育園 (K)